

No. 94 平成12年1月1日

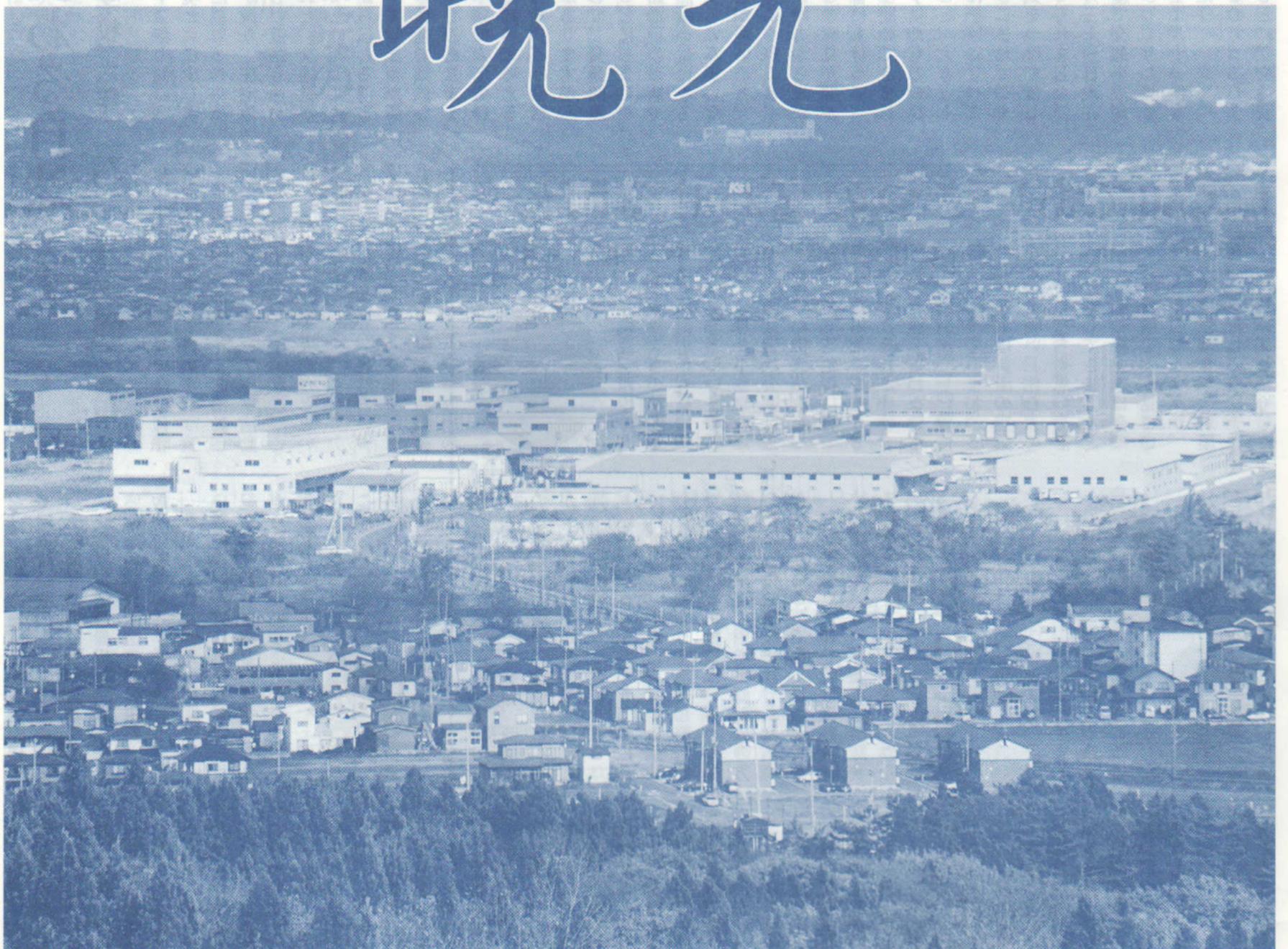
あ ら や 衆 報

- ②~④ 21世紀に向けて
発展する新屋へ
- ⑤ 国、県などへの
要望事項に回答でる
- ⑥ おれほのええどごⅡ
新屋駅前町、日の出町
- ⑦ 今は昔なれどⅥ
新屋野球の黄金期を探って
- ⑧ サークル紹介
桐の会、気功サークル

発行・新屋振興会(池田 正方)、秋田市新屋大川町27-32・☎828-2324、編集・広報部、

印刷・トータルシステム アート印刷センター ☎828-5258

曙光



二十一世紀を前にして

佐藤 忠 男

新年おめでとうございます。
いよいよ二十世紀最後の年となりました。

今世紀のわが新屋にあった出来事の中で、特に影響の大きかった事を私なりに考えましたところ①雄物川の改修工事 ②東北パルプ秋田工場の進出 ③人材育成としてのスポーツ、があると思います。

①、②は、地区に環境と産業の面で大きな変革と雇用の場を提供してくれました。③の面は解り易いと思えます。新屋の人達は、本当に野球を始め、スポーツ好きです。昨年の全県「五百歳野球」大会で、「新屋日新クラブ」が優勝を飾りました。地区の人達が守り育て、磨き抜いたものであり、立派な伝統となって受け継がれています。

戦時下で、野球が禁止された時代には、歯科医の三浦捷治先生の自宅裏の土俵が、相撲を通じた青少年の鍛錬の場でありました。

現在では、西中学校、新屋高校を軸として、文武両面に活動が続けられております。また、パルプ工場の跡地に拠点を置く、東北電力のラグビーのナショナルチームも活発に活躍しています。

地域全体で、二十世紀の締めくくりとして、元気で明るいな年にしましょう。

(新屋日吉町四一十六)

発展する新屋へ

さて、今年平成12年は、西暦で2000年になります。この激動の20世紀の最後の年にあって、また、21世紀を迎えるに当たって、私達の住む新屋の地がより平和で、快適で暮らし良い郷土にするために、どんな夢をお持ちかを、小学生から年代ごとにみなさんに伺ってみました。

新屋の環境と共に変わる自然

日新小学校 六年 石井 亜希



私は、十二年間をこの新屋で育ちました。大森山があり、緑の美

しい新屋ですが、十二年の間に、回りの自然は、環境と共に少しずつ変わってきました。

例えば、田や畑が減り、住宅地が増えました。新しい道路も通って便利になったけれど、交通量が増え、ポイ捨てゴミもめだつようになり、昔から伝わる湧き水も、飲めなくなりました。山や川、海もあり、自然の美しい新屋です。新屋の環境で気になります。まだまだたくさんあります。

そこで、日新小学校の六年生は新屋の環境について調べて考える学習に取り組みました。ごみや騒音など様々な問題がありますが、私は、友達と協力して、交通問題について調査することにしました。

まず最初に、道路沿いのお店や公民館の人に、交通問題で気になることをインタビューしてみました。その結果、交通量が多いこと、カーブミラーが見えにくいこと、一方通行の道なのに両方から車が走ってくるなどの意見が聞かれました。新屋交番にも行って、所長さんにいろいろ聞いてきました。

所長さんは、子供たちの飛び出しが一番心配なこと、大きなトラックが曲がる時にそばに立っていると車の下に巻きこまれてしまう危険があるので気をつけてほしいことなどを話してくれました。また、昨年の十月三十一日現在で、八十一件も新屋で交通事故があったと聞いて、びっくりしました。これは、一昨年より十一件も多いのだそうです。

私は、放送委員なので、この学習で調べたことをもとに、交通安全

全について、昼の放送で全校に呼びかけようと思っています。日新小学校では、花まる活動といって全校でクリーンアップ活動にも取り組んでいます。私は、こういう活動もとても大切だと思います。

など、歴史ある建物や石碑が残っている新屋。鹿嶋祭りや神社のお祭りなど、伝統行事が伝わる新屋。新しい学校や図書館、道路ができ、発展する町：新屋。私が生まれ育ったこのすばらしい新屋の町が、これから二十一世紀も、美しい自然と伝統を守りながら発展していくことができるよう、私たち子供たちにもできることを考えて、がんばっていきたいと思います。



笑顔であいさつの交わせる町に

秋田西中学校 三年 山下 鷹也



僕達、西中のグラウンドの桜並木は何十年も新屋を見守っています。母が小さかった頃は帯状公園は工場の排液が流れて臭く茶色にごった川だったそうです。それが今は、自然を損わない市民の憩いの場になっています。桜並木は新屋の空気を吸い、住む人の気持ちや思いを静観してきました。

その桜並木は今の新屋をどう見ているのでしょうか。僕は今年の新屋を新しい事にチャレンジし頼もしく

感じていと思います。雄物川花火大会への西中生の参加、商店会のバカ市など新屋の活性化につながったイベントがありました。前期の西中生徒会のスローガンは「協調」みんなの心を一つにして一でした。地域に貢献する生徒会として活動してきました。また、伝統ある新屋にはいろいろな祭りがあり、小中学生は地域の方と接する機会に恵まれ、ふれあいを深めることができました。しかし、高校生以上の若者は傍観者にすぎません。もっと若者が活躍する機会を増やしエネルギーを

ゆとりとふれあいと豊かな自然と

新屋高校 三年 加賀屋 大悟



私は生まれてから十八年間、ここ新屋で育ちました。考えてみると幼稚園から始まって高校までずっと新屋の中にある学校に通ったことになりました。新屋という街に密

活動を行い、そして新屋の先人の背を見て夢もてる新屋になって欲しいと思います。新屋に限らず秋田は新しい事へのチャレンジが足りないと思います。新しいイベントを中学生以上の若者に任せ、楽しみながら若い頭脳により新屋の果たす役割を探り、町民の意識変革を成しえ若者の魅力ある新屋になって欲しいです。

例えば、二十一世紀に向けて発展する新屋になるため「芸術の町」にしたらどうでしょうか。新屋には美術工芸短期大学や「ももさだ」など立派な施設があります。アトリエハウスとしてアーティストに活動してもらったり、体験施設を充実させ、活性化を図ることが出来ます。また、道路や電柱をアートでいっぱいしたり、絵や陶芸品を販売し、興味をもつ人を増やすことも出来ます。地域の方に教室を開いて交流の輪を広げていき、明るく楽しく住みやすい心に残る町づくりを目指してはどうでしょうか。

これから二十一世紀に向けて、帯状公園や温泉を緑あふれる新しい雰囲気を出し、未来への町というイメージを意識付け、実現するために一人ひとりでは出来ないことを新屋衆みんなが知恵を出し合って、一人はみんなのために、みんなは一人のために貢献できる夢や勇気を外に向かって発信することができたら素晴らしい新屋になることではないでしょうか。そのためには、一人ひとりが地域活性化を新屋の問題としてとらえるだけではなく、自分の問題としてもとらえることが必要不可欠だと思います。最後に、中学生の僕達には何ができるのだろうか。十五年間育ち住んでいる新屋に誇りをもち、笑顔のあいさつを心がけ、みんなの心も空気も明るくしていきたいと思っています。最近の若い人はあいさつ一つまともにできないとよく耳にします。でも若い人だけではなく、相手に対して気持ちよくあいさつをする心がまえが無くなっているような気がしています。でも単なる儀礼的なものではなく、人と人とのふれあえる大切な言葉です。一人ひとりがコミュニケーションを大事にすることにより、協調性や連帯感が強くなると思います。そして、「イエス」「ノー」をはっきりと言える人間になり、現状にとどまらず、より大きな目標に向かっていきたいと自分は思います。

21世紀に向けて

20世紀は、世界的に生産と消費、戦争と殺戮と破壊の繰り返しの歴史と言われております。この新屋でも、そうした世の歴史に揉まれながらも、私たちの先達は、日常不断の労働と勤勉と努力で、郷土新屋の振興に尽くし、近代的な都市に変えて来ました。

ことができ、ずっと続いていくものだと思っていました。ところが最近では、カブト虫やクワガタの姿もあまり見る機会が無くなりました。メダカやゲンゴロウに至っては、ひよっとすると絶滅の危機にあるのではないかとまで言われています。こんな事をニュースなどで聞くと、何だか寂しくなってしまう。十数年でこんな風になるとは、私は全く予想もしていませんでした。

新屋もここに来て、随分と田んぼが少なくなり、住宅がたくさん建ってきました。砂利道もどんどん舗装されてアスファルトが目立つ様になりました。それにともない、大変な数の車が街を通りようになりました。確かに、こういった開発の方が、活気のある便利な街になるかもしれません。

しかし、そういった開発という事だけに満足していい良いのでしょうか。私はそれでは新屋の本当の発展とは呼ぶことのできない様な気がします。自分の身の回りを見て言うと、自然は少し小さいながらも、きちんと残っているし外で遊ぶ小さな子ども達の元気な声が聞こえてきたり、親しい近所付き合いもまだあります。私はこ

ういう事が、何だかのんびりしていいいなあ、と思えるのです。私は現在、一生懸命にやっている開発を止めるとは言いませんが、もう少しあせらずに心にゆとりを持って暮らせる街づくりをしてほしいのです。

新しく、暮らしに便利で必要なことを取り入れつつも、自然の豊かさや、人々の温もりなど、昔ながらの新屋の良さを残すこと。互いにこれからの良い所を伸ばし合い、活かせる様な街にしてほしいのです。

例えば、自然があふれる広場や家族連れが楽しめる屋外アスレチック場の設置。バザーやファミリーマーケットをひんぱんに行い人々のふれ合いを大切に。他の面では、街灯を増やし夜でも歩きやすい様にするなどです。そんな街なら、昔ながらの友だちや、新しくできた友だちと笑いながら暮らしていける。二十一世紀、そういう新屋に住んでいたいと思います。

新屋の良さを発展させて

秋田公立美術工芸短期大学

この夏、私は友人と卒業制作の資料を集めるためと、軽い息抜きを兼ねて東京への小さな旅をしました。

伝統の継承と総合病院の設置

大川町

五十嵐

勉

私は、この新屋で生まれ、東北パルプの排水で産湯を使った新屋衆です。



結婚を期に十年間新屋を離れ、再び、この新屋で生活してみると

今までくらししていた地域との差が見えてきます。それは、伝統が今も残っている事です。鹿嶋祭り、日吉山王祭、特に、鹿嶋祭りは、子供中心であり、他の地域では味わえない楽しいイベントです。次世代の子供たちにも受け継いでほしいものです。

逆に、不便だと思ったのは、総合病院がない事や、家族連れで食事に出かけようと思っても、近所になく、不便に思っています。これは二十一世紀への夢ではなく、すぐ実現できればうれしい事です。これらは、郷土新屋の発展とより、私の希望かもしれません。

水と緑・希望の新屋で

愛宕町 田中 恵子



ここ最近の新屋は著しい発展が目に見えてわかる様になりました。私は、新屋生まれの新屋育ちですが、十年程、福岡に在住し去年秋田に戻って来ました。子供の頃は、裏山をかけ登り大森山までの近道を歩いて行ける距離程の新屋浜へも、お弁当などを持って友達と出掛けたりました。ももさだかえるは、とても愛嬌があるイ

ンバクトの感じるものだと思います。福岡に住んでいた頃も帰省した際には、海山と必らずと言っている程行っていました。どんなに風景が変わっていても、新屋の昔ながらの匂いは、忘れません。

家の近くに栗田神社があります。いつもは車で通り過ぎるだけの道を、浜風に吹かれた松の木々が、すごく懐かしくこころよくしてくれました。そういった昔ながらの風景を大事にしながら、私達はこれから発展しつつある新屋を見守りたいのです。

新屋図書館にも足を運び、よく活用しています。ビデオ鑑賞なども出来、今まではない画期的な事も、明るいイメージの建て物で自然と足が向いていく気がしています。

春の桜並木を、今では、公園も出来、ゆつくりと橋の下からベンチに座わり、夜には、夜桜を観に

工藤 奈保

二十一世紀に向けて、この場所もより便利に、魅力的に発展していくことでしょうか。

しかし大切なのは、良い物を守り、保ち続けていくことなのではないのでしょうか。きつと、本当に良い物は、どんなに時代が変わっていても、多くの人々の心の中で色褪せることなど無く、キラリと輝き続けることでしょうか。新屋にも、そんな良い物がたくさんあると思います。これから十年後二十年後、それより先も輝きを失うことなく、発展していけたら、とてもステキだと思います。

宴会のにぎやかさ、とても、明るい雰囲気変わり、街並が西洋風であり、おしゃれな街灯にも目をひくものがあると思っています。新屋の街並も本当に進歩して現代的に変化しているようです。特に思う事は、田畑などの敷地に建てられている、新しい家が目につきます。

新屋の人口が増加しているのもそのためでしょうか。「宅地分譲」の看板など、見受けられ、見る間に新居が建ち並ぶ。何か、新しい町名がつけそうなくらいの、新屋駅前やその裏も、暗い道が、アパートや商店の灯に照られ、昔の暗い怖い道といった感じがなくなりま

した。犬の散歩をする人、夫婦そろってウォーキングをする人など、ほっとする道のりも、昔の心をなごませてくれるのでしょうか。安心して、散歩が出来るのはとても良い事です。沢山の恵まれた水と緑の新屋は誇りに思っています。大森山からの夜景は、一番好きな場所です。一目でそれを証明してくれる場所です。

二十一世紀を目前にし、子供達にとっても、このまま、実り豊かな新屋と共に育んで行って欲しいと思います。

もつと沢山、全身で新屋の良さに触れて欲しいです。特別に望む事は、ないけれど、新屋に生まれ育った事は、これからもきつと私の財産であって、又キラキラ希望に満ちた宝物でもあります。



「花のロード」新屋

緑 町 渡 辺 靖 子



一步新屋へ足を踏み入れたら、ほんの花の香りが漂う、そんな

花の町に町民全体が一丸となつて花づくりに挑戦してみませんか。最近ブームといつていい程花づくりが盛んで花店は大賑わいで。玄関や庭先で育てた花を家族だけで眺め楽しむのではなく、道を歩いて行く人達にも綺麗に咲き誇っている花を楽しんで貰いましょう。好天に誘われ、車で走っている

と四月の菜の花からはじまって六月のあじさい、コスモスやさるすべりなどあちこちで見える人の心を和ませてくれます。

私達の住んでいる新屋も、規模は小さくても新屋へ行くといろんな花が楽しめる、又行って見ようと思わせるそんな町にしてみたいと思います。

マリゴールド、ペコニア、日々草など各家々でプランター二、三個、植付け、管理は各々で、町内毎に花の種類を揃えて道端に沿ってフラワーボックスが並ぶ花の

ロードを作りましょう。

「温故知新」

北新町 五十嵐 順子



世情の流れに逆らえず、いくつかの課題を残しながら二〇〇〇年

になろうとしております。私も新屋の住民になって早三年、今ではすっかり新屋衆にな

四季折々に、鮮やかな色で町中を花いっぱいにして、その花を見に新屋を訪れる人達が大勢集まり、それが間接的に新屋の活性化へとつながっていきば幸いであり、大いに期待出来るような気がします。

活性化は商店街の頑張りだけでなく、私達住民も力を合わせて出来ることから始めませんか。



り愛着の念でいっぱいです。振り返れば、当時の「まち」から随分変貌したものです。恵まれた自然環境のもと、私たちの日常生活の基盤整備も完成しつつあります。

これを機に、さらに郷土新屋の発展を目指すには、他を引きつける「なにか」を創って行かなければと思ひます。たとえば、施策の一つといたしまして、多くの人から絶賛されている大川町の桜並木を市内・外にP・Rを重ねるようにし、豊かな新屋の歴史をお花見のシーズンを通して観光の目玉にしてはどんなものでしょうか。また、内にあつ

みんなが町の応援団に

新屋振興会 会長 池田 正

明けましておめでとございます。

ご家族お揃いで、新年への希望と期待を胸に、決意をあらたにお正月をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年の夏は、三十五度以上の気温が八日間、真夏日連続二十七日間、県内で十四名が熱中症で死亡、猛暑は貴い人の命も奪いました。

こうした猛暑にめげず、新屋日新クラブが、第二十一回五百歳野球大会において百三十チーム、参加選手三千六百人の頂点を極め、九月二十一日行われた決勝で、追分野球クラブを二―一で競り勝ち、二年振り、五回目の優勝を果しました。

この快挙は、新屋町民に大きな喜びと、感動を与えてくれました。また、十月二十三日、新屋商店会、新屋街路灯組合、新屋表町商工振興会の三団体は、新屋駅前、ナイス駐車場等新屋商工振興感謝祭「新屋バカ市」を開催し、「採算を度

外視、バカになって新屋の商店をアピールしよう」と、二十店舗が参加して行われ、市価の半値以下のものもあり、大勢の買物客で終日賑わいました。

同実行委員会では「来年は年数回開催してバカ市を定着させたい」と話しております。

新屋町では最近、スーパー、飲食店などの廃業が続いております。車のない方や、お年寄りの方は、近いところで買物や食事ができ、一寸具合の悪いときには、診ていただけるお医者さんが居ると安心して生活ができます。

どうか新屋町のみなさん、一人ひとりが「町の応援団」となって新屋の商店から買物をし、新屋の酒を飲み、新屋の伝統行事や、お祭、地域内にある学校、各種団体の行うスポーツ、文化、その他の活動に参加したり、応援をしていただき、町を元気にしていただく事をお願いします。

株式会社 **丸大冷蔵**

冷凍食品・食肉・食鳥・鶏卵
冷凍エビ・海産品卸

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-64
TEL (018) 828-1555(代)
FAX (018) 828-1055番

農業・肥料・農業資材・種子
無人ヘリコプター

小泉商事株式会社
秋田中央営業所

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-136
TEL 018-888-8811
FAX 018-888-8666

ては伝統行事の一つに鹿嶋祭りがあります。船出の見送りの光景を見るたびに幼子の手を引くなつかしい親の面々が一堂に会した時、お祭りってこんなに魅了させられるものか、と感無量になります。

この伝統行事と文化、歴史に育まれ、脳裏に焼きついた子供の体験がやがて親元を離れても、ふるさとへ帰る時のたのしみの一つに親もその日が来るのを待ちわびているのです。

いくら世の中が進んでも、親子の絆はなにもにも変え難く、世代交代しても発展する町づくりは健全な家庭からと、子孫孫に受け継がれてほしいものです。

「温故知新」私の好きなことばの一つです。

老朽化が進む西部公民館

シビックセンター構想も順番待ちか

市関係

老朽化した西部公民館の改築とコミュニティセンターの両機能を併せ持つ施設としてのシビックセンターの早期実現をいただきたい。

回答 西部公民館の改築については、老朽化の著しい中央公民館の改築後に、他の公民館とともに複合化も視野に入れながら、住民の学習ニーズに対応できる施設として検討してまいります。また、(仮称)シビックセンター構想については、市内の公共施設の現況ならびに、市民要望を把握したうえで、市民

の将来的なニーズを満たしうる新たな公共施設の建設を目指すものであり、本市では(仮称)中央地区シビックセンターの建設を念頭に置き

平 成十二年度四月から発足する介護保険にかかる保険料は、低所得者層に負担にならないよう出来るだけ低額に設定していただきたい。

回答 低所得者に対しては、所得に応じた保険料設定をするほか、



ながら、基本構想の策定を計画しているところであり、従って、中央地区以外のシビックセンター建設については、今後市内各地区の公共施設の現況調査や、市民要望の調査結果を踏まえ、市民要望の課題として検討してまいりたいと考えております。



比内町の市営住宅の全面改築をいそいで!

比内町市営住宅の全面早期改築をしていただきたい。

回答 市営住宅の建て替え計画は、団地の統廃

総 合医療施設の早期実現をしていただきたい。

回答 新屋地区の医療体制の整備については、

これまでも総合医療施設の設置判断して困難であること。また、診療所の設置を医師会等関係機

合も併せ検討していますので、比内町団地もこの中で検討してまいります。



関へ働きかけていくことをお答えして参りました。

従って、総合医療機関の設置については困難ですが、医療法で十九床以下の入院病床の設置が可能である診療所の設置について、介護する家族の高齢化を踏まえ、医師会等関係機関に引き続き働きかけてまいります。



大 川端帯状近隣公園にかかる桜橋の架け替えをお願いしたい。

回答 これまでも橋梁の架け替えを順次実施して来ており、桜橋については、今後、地域環境の変化等も考慮しながら、事業化について検討してまいります。



羽越線をくぐって表町通りへ新設道路着工

新 屋駅東住宅から十條跡地内を経由し、表町中央へ通じる新設道路の早期実現をしていただきたい。



回答 大川端帯状近隣公園から西部工業団地までの新設歩道に

については今年度(平成十一年度)より実施してまいります。

新 屋海浜公園の整備促進をお願いしたい。

回答 新屋海浜公園計画地の用地を取得し、整備を促進することは現在の秋田市の公園の整備状況や財政事情から判断して困難です。しかし乍ら、計画地内で河川占



国・県などへの要望事項に回答でる

新屋振興会としての、平成11年度の国などへの要望事項は、7月の「町内会長・理事会」で検討され、直ちに関係機関へ提出し、陳情を進めてきました。

この程、文書による回答を得ましたのでお知らせします。これからも地域発展のため、住民のみなさんのご意見をお寄せくださることをお待ちしております。

国関係

秋 田大橋の早期完成をしてもらいたい。(継続)

回答 平成十一年十月より上部工工事にとりかかって、二年程度で完成の予定



「全戸会員・会費制に」ご理解とご協力を

秋田市社会福祉協議会では、「全戸会員・会費」制を進めようとしております。

十一月二十二日、新屋支所において各町内会長に出席していただき、新屋地区社会福祉協議会の伊藤会長及び秋田市社会福祉協議会

の和田常務理事から説明をうけました。

今後各町内の役員会、総会等で相談していただくことになると思いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

FMT 高白色度を誇る炭酸カルシウム製造

株式会社 **ファイマテック** 秋田工場

代表取締役 **片山正治**

西部工業団地 秋田市新屋鳥木町1-34
TEL 018-828-0171
FAX 018-828-0173

JR券 航空券 宿泊券 etc.

“旅は、新しいあなた 自信の発見です”

株式会社 **フラワーリスト**

永井 要

〒010-1635 秋田市新屋前野町11-6
TEL 018-828-5941
FAX 018-828-7083
携帯 090-2600-7082

日用品・化粧品卸商社

真心こめて

流通に生きる **ダイカ** 株式会社

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-93
TEL 018 (828) 0100
FAX 018 (828) 0500

食品・酒類・卸売業

秋田市新屋鳥木町1番64号

丸大堀内株式会社 秋田支店

TEL (018) 828-1011代

おれほのええどご

わが町内自慢Ⅱ

『新屋町の玄関』を誇りに

新屋駅前町内会 町内会 会長 中津川 正次郎

新屋駅前町内会の沿革は、大正九年（一九二〇年）、羽越北線（当時）秋田、道川間が開通し、新屋駅が開業した同年二月二十二日にはじまります。

昭和五十三年の春に誕生

このときに、新屋町内と豊岩を結ぶ古くからの道と、新屋駅設置に伴って新しく開通した道の二本に沿って、駅寄りに数戸の集落ができたといわれます。

それ以来、大正年代末の比内南町（現比内町）への編入などを経て、昭和五十二年の比内町からの分離、翌五十三年春の「新屋駅前町内会」の創立と続き、名実共にその姿を表すことになりました。

世帯数二六〇戸がわが町内会の現勢です。今日、車社会の動脈である「鉄道」はかつての勢いを弱めそれに伴って新屋駅

もまた往年の賑いを失いつつあるように見えますが、それにもかかわらず「新屋町の玄関」としての面目はいささかも揺いでいないと思います。近在へのバス発着所、スーパーマーケット、銀行、郵便局とそれらを囲む種々の店、周辺の住宅地や工業団地の増勢、駅を起点とする遊歩道の開通など、環境の開化を見るとき、その感を強くします。

つまり、「新屋町の玄関に立地する町内会」が、わが町内会の自負であり、誇りであることをいいたいのです。この気持は、この地に長く住む人達ほど強いのです。

私は、自らを含めた新屋町の人々と、新屋町を訪れる多くの人々に、日々好印象をもって接するための環境作りの努力を、それぞれの立場で果たせようという気持が、町内会の人達の心の底を流れていることを、強調したかったのです。このことが、駅前前の駐輪場の整頓や、駅前周辺や遊歩道の



駅前町の鹿嶋まつり

清掃などの形になって表れているのだと思います。この気風が、楽しく、長く、運動として広がっていくことを願っております。

さて、この機会にわが町内の動きのいくつかを紹介したいと思います。わが町内には、三十代から七十歳代の人達の自主組織「青壮年

「日の出の勢い」の町内

日の出町 町内会 会長 石黒 新五郎

一日と寒さも増して来た今日このごろ、高台の日の出町より町内の歩みをお知らせします。

平成四年四月に町内会が発足し当時はわずか二十四世帯でしたが現在は三百五十八世帯の大町内となり、町名の通り「日の出の勢い」で発展してきました。

昨年は鹿嶋祭りの当番町として無事にその役割を果たすことができました。

また、私達の町内に、今から百三十年前に起きた「戊辰戦争」にまつわる墓があります。その墓には、戦火から新屋を守る戦いで亡くなられた、佐賀藩の兵士が葬られています。私達は亡くなられた兵士達の思いに報いるためにも、新しい町内のシンボルとして永久に守り続けようと、墓の清掃に取



当番町をつとめた日の出町の鹿嶋まつり

会」があります。この会は、子供会や町内会と協力し合い、その中心になって、鹿嶋祭、納涼焼肉パーティー、故紙・空ビン回収などの行事を、地道にすすめてきています。私は、この会の若手の人達がやがて町内会の指導者となることを確信しております。

また、町内の長老達の長年の経験を教訓として生かしていくことも、忘れてはならないと思います。昨年の秋、新屋駅前前の今昔や新屋

の方言などについて、話を聞く会を開催することができました。新屋衆の心の豊かさを満喫した会でした。このことを忘れずに、町作りをすすめたと思います。

町内会便り	
1月1日	新屋駅前町内会 新年会
1月15日	新屋駅前町内会 新春会
2月1日	新屋駅前町内会 春の会
3月1日	新屋駅前町内会 春の会
4月1日	新屋駅前町内会 春の会
5月1日	新屋駅前町内会 春の会
6月1日	新屋駅前町内会 春の会
7月1日	新屋駅前町内会 春の会
8月1日	新屋駅前町内会 春の会
9月1日	新屋駅前町内会 春の会
10月1日	新屋駅前町内会 春の会
11月1日	新屋駅前町内会 春の会
12月1日	新屋駅前町内会 春の会

随時発行「町内会便り」昨年5月から発行され、11月3日で18号を数えています。



葉隠墓苑

十月三十一日に町内のみなさんをはじめ、商店街青年部の方々の出席を得て無事行うことができました。これからも明るい町内づくりを励んでいきたいと思えます。

我民匪信以待其弊使即墨吾人頌仇其上願輝千戈頼我猶親善守之
 智無所心雖然則求仁得仁即墨大夫之義也任窮則從微子適周之道
 世爾彌廣之路以待四單之徒長宿善之風以申齊士之使夫忠者遂節
 通者義著昭之東海屬之華裔我澤如春下應如草道先守宙賢者託心
 新因傾慕四海延頌恐戴燕空仰望風聲二城必從 崇報 崇報

光明皇后 樂毅論

釋文 池田繪利子(路馬扇) (新屋大川町三五二)

「広げよう、ふれあいの心と地域の輪」 公民館創立三十周年 記念式典開催
 西部公民館創立三十周年記念式典が、彌高会館で去る十月十五日に行われました。
 国際ボランティアセンターの、桑山紀彦氏による「地球のステージ」と題したコンサートの後、式典に入り、個人四名と三団体に、長年の貢献に対し、感謝状が送られました。
 鈴木助役、石黒教育長始め、県市議会各議員、各地区公民館長、西部公民館歴代館長、各サークル代表、西部地区町内会長、地区学校関係者等、約三百名が一堂に会し、「広げよう、ふれあいの心と地域の輪」のスローガンのもと、祝賀会も盛大に催されました。



水まわりのご用命は当社へ
 秋田市指定工事業者
 雄和町指定工事業者
吉田ビニール(株)
 秋田市新屋鳥木町1番46号
 西部工業団地内
 TEL 018-828-2811
 FAX 018-828-2817

輝く伝統を若い人に引き継ぐ

“時けんこんにめぐり来て 雄物川原の深みどり 西山原
頭我たてば 若き血潮たざり来て とつこの敵を破らずば
誰か覇権を口にす”

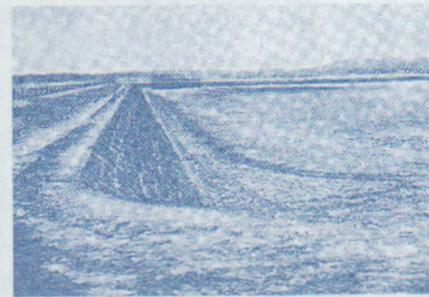
この歌は、新屋日新小学校野球部の歌です。当時の野球部の
コーチの方々が選手の志気昂揚のために作られたものです。

時の経つにつれ、野球の応援歌にまで発展し、また、各種の
会合で良く歌われていました。三節に構成されていますが、
その一節です。良い歌で志気が高まり、勇気が出る、昔々の
歌ですが、今でも歌い続けられています。何時までも後世に
残してもらいたいものです。

思い出深い

「西山原頭グラウンド」

さて本題に入ることとします。
前の野球部の歌の中に「西山原
頭」とは、西の小高い山を登り、
海の方に向けて坂道を下ると小さ
い平坦な丘があり、それが西山グ
ラウンドで、大正十二年ごろ雄物川
改修工事新屋事務所におねがいし
て、大正十三年九月ごろ完成され
たとのことで、大正十二年出場
の選手達は、この未完成のグラ
ウンドで汗と砂だらけになって頑
張ったことだったと思います。



記念グラウンド竣工直後のころ
(辻佐藤治氏提供)
「改訂新屋郷土誌」から転載

プレーヤーとして往時をまとめられた 大塚豊三郎さん

日新小学校野球部が第三回全県少年
野球大会にはじめて出場したのは、
大正十二年八月で
した。
一回戦、二回戦
と勝ち進み、準決
勝まで行き、残念
ながら敗退しまし
たが、新屋の野球
の強さを若干なる
とも、知らしめた
のでしよう。
ところがこの
チームの選手の中
で現在も健康で活
躍されている人が
いますので、紹介
いたします。チー
ムの要の捕手とし
て活躍された、大
塚豊三郎さんです。
大塚さんは、「少
年野球の歩み」の

大正15年ごろから

新屋野球の黄金期

第四回大会からB組(尋常科)
も出場したが、上位に進むことが
出来ずに終わっています。第五回出
場はA組、B組とも好成績でした
が、もう一つ頑張りが足りなかつた
ようです。大正十五年は第六回大
会でのいよいよ新屋の野球の黄金時
代の幕あけとなります。A組(高
等科) B組(尋常科)とも念願の
優勝を果しました。
この優勝で新屋の野球は強いぞ
との声が巷に広がり、新屋町民も
いやが上にも盛り上がり、選手の父
兄は勿論、町民と一帯となつて優
勝の喜びを味わつたものです。こ
の時点から応援団も出来上がった
ものだと思います。第七回大会は

500歳野球で 5回も優勝

ところで、現世
に戻り、新屋日新
クラブの発足当時
から現在までの戦
績を振り返って見
ることにします。
新屋日新クラブ
の発足は、昭和五
十七年神岡町主催
の五百歳野球に出
場のために結成さ
れました。初代会
長に大塚豊三郎氏
副会長に大島勘九
郎氏と故高島長助



9/21 500歳野球で5度目の全県優勝を
成し遂げた新屋日新クラブのメンバー
・神岡町営球場



昭和23年の優勝記念(斎藤政雄氏提供)
「改訂新屋郷土誌」から転載

昭和二年でA組が準優勝になり、
B組が優勝しました。このことで
一段と新屋の野球があまり強すぎ
て市内では新屋衆の魚商人からは
買わない、との笑話も出たり

氏と二代目監督に故 加藤一氏等
が旗揚げをしました。
神岡町の大会は第四回大会に初
出場し、初優勝を成し遂げました。
その後、現在まで県内最優勝の
記録のトップ、昨年、五度目の優
勝」というすばらしい記録を打ち

新屋の野球の ますますの 発展を!

これまでの戦績と新屋町高揚の一
助となった選手諸君のために去る
十月二十八日吉会館に於いて優
勝祝賀会が、新屋の野球を愛する
人達、また心から新屋野球を応援
する方々が発起人となつて盛大に
行われました。筆者も心から敬意
を表するものです。
また、野球の後援会も結成され、
新屋日新クラブだけでなく学童野
球も西中も新屋高校も地域内の野
球が益々発展することを願いな
がら、野球を愛する人達に夢をあ
たえてくれるよう応援することな
りました。応援歌「時けんこんにめ
ぐりきて…」と心で歌つて終ります。



10/28 全県500歳野球優勝祝賀会

今は昔なれど………VI

新屋野球の黄金期を探って

大塚 慶四郎



「すこやか気功サークル」のみなさん

サークル紹介

「桐の会」茶会の歩み

土田 毛ト

今から十二年前、西部公民館で工藤先生のご指導のもとでの茶道サークル「桐の会」に入会させていただきました。

入会してある日、サークル代表役員会の席で「桐の会」さん茶会を開いて見ては」と声がかかり、茶会の茶の字も分らない私にとっては一瞬大変な事になったと戸惑いました。これまで各流派の茶会には先輩と二、三回一緒に過ごして頂いた事はありましたが、ただただその都度、亭主側の準備のご苦労と客に対する細かな心づくしに感銘し、一服のお茶をお美味しくいただきました、心豊かな一時を過ぎました。自分達があの様に心からお客様にお茶を差し上げる事が出来るだろうかと不安で一杯でした。

この事を先生始め、会員皆様にお話ししましたところ、先生から「何時も客だけの稽古ではなく亭主になって見ないと(要するに主客一体となる事) 本当の茶道の心が分からない。又、日頃サークルで稽古した点前を人様の前で披露する良い機会でもあるから余り深く考えないでやって見なさい」と励ましを受け、会員の皆さんと話し合い、出来る範囲で精一杯やりましたよと決まり、これが桐の会

の茶会の出発点となりました。この年は利休四〇〇回忌に当たっており、初めての茶会が思い出深いものになればと思います。準備の第一歩として茶室がありました。幸い先生が当時新屋の敬老会の際、呈茶の席を設けて居りましたのでお手伝いをさせて頂き参考にし、その他諸道具などは公民館や先生のご協力を受け、会員がそれぞれ手持ちの物を持ちより、どうやら茶会を開く事が出来ました。



「桐の会」のみなさん

は「大変ごちそう様でした。お美味しかったです」とお礼を言われた時にはまさに一期一会の心を感じ本当にお茶席を設けて良かったと思えました。それから毎年一回の茶会を重ね、今年は何回目となりました。重ねる度毎に茶道の間口の広さ、奥行き、深さを知らされました。お陰様で思いやりの心、ものの取扱い、鑑賞などものを見る目がほんの少し身に付いたのではと自負し、これからも老の身ですが皆様の助けをいただき感謝しながら、今までの「型」だけだったもの(茶道)を私ながら少しも「形」に成る様稽古を続けて行ければと思っております。

すこやか気功サークル

佐藤 真知子

昨年の十一月、公民館と婦人会共催の教室として開かれた講座が「気功教室」でした。

健康、そして精神面でも良いので継続したい、という、皆の意見で今年の春から発足したのが、すこやか気功サークルです。気力と体力の充実、なおかつ内

臟丈夫に、心安らかに前向き姿勢で見つめる事。

始めてから、「気」という字の付く熟語の多さに改めて思い知りました。私たちは、気の中で生活しているのかもしれない。気合い、気移り、気運、気鋭、気炎、気負う、気落ち、気重、気温、気掛り、気

分、病氣、辞書を引くと「気」の多さにびっくりです。

健康と精神から、毎日の生活を健やかにするために、先生からお話をうかがい、又、邪気を払ってより健康になるために、月二回、非常に出席率も良く、サークルを楽しく、又待ち遠しい気持ちでいる会員の私です。



あ ら や 衆 報 ス ナ ッ プ



移動市役所10/23アトリエももさだ



大橋上部工事安全祈願祭10/20大橋河川敷



新屋町民運動会 9/26西中グランド



海浜でのクリーンアップ作戦 9/26



新屋郷土文化講演会11/13西部公民館



あきた文化デザイン会議'99 10/16~美短キャンパス



新屋町民運動会 9/26西中グランド



移動商工会議所10/19新屋支所



地域まちづくり懇談会11/27西部公民館



新屋商店会のバカ市10/23ナイス駐車場

編集後記

「21世紀に向けて」は、今世紀を正しくとらえてはじめて展望が見えてくるものと思われまます。小学生から八名の皆さんのご協力に感謝します。

「今は昔なれど」では、大塚大先輩から往時をふりかえり貴重な原稿をいただきました。新屋の野球はこれからも不滅でありたいものです。

西部公民館の老朽化がいわれて久しい。多目的施設としてのシビックセンター構想も時期を得てはじめて価値が生れるものと思われまます。整備されていく環境の中で地域住民同志のふれあいを大切に今年も明るく元気にみちた新屋でありますよう祈念します。

「21世紀に向けて」は、今世紀を正しくとらえてはじめて展望が見えてくるものと思われまます。小学生から八名の皆さんのご協力に感謝します。